

## ■ Tsuda Masashi 津田 正史

### MEXT (科研費)

1. 認知症診断を目指した脳内酸素代謝の非侵襲的観測法の開発 (代表: 津田正史) 挑戦的研究(萌芽), 令和2~令和3年度, 3,000千円.

### Any Other Funds (その他の研究経費)

#### [Consigned Research (受託研究)]

1. 海底泥からの微生物の分離と抽出物の化学的分析 (代表: 津田正史), 高知県, 1,155千円.

#### [Joint Research (共同研究)]

1. <sup>17</sup>O MRIによる薬効評価システム開発, (代表: 津田正史), 株式会社Spectro Decypher, 3,500千円.

### Journal Publications (論文)

1. Tsuda, M.; Makihara, R.; Tsuda, M.; Suzuki, T., Iriomoteolide-14a and 14b, new cytotoxic 15-membered macrolides from marine dinoflagellate *Amphidinium* species. Chem. Pharm. Bull., 68, 864–867 (2020).
2. Tsuda, M.; Makihara, R.; Minamida, M.; Tsuda, M.; Akakabe, M.; Kumagai, K.; Fukushi E.; Kawabata, J.; Suzuki, T., Amphirionins-3 and -6, new polyketides from the cultured marine dinoflagellate *Amphidinium* species. *Heterocycles*, 100, 1678–1685, (2020).

### Patents (特許)

1. 津田 正史, 津田 雅之, 中山 登, 中岡 茂, 核磁気共鳴検出方法, 特願 2020-039397.

### Conference Presentations (学会・講演会発表)

#### Domestic:

1. 須貝智也, 加藤将太, 水上大地, 津田正史, 不破春彦, Amphirionin-2 の全合成と完全立体構造決定, 第 62 回天然有機化合物討論会, オンライン, (2020/9/26-28).
2. 水上大地, 加藤将太, 須貝智也, 津田正史, 不破春彦, Amphirionin-2 の全合成、構造改訂および絶対配置の決定, 第 49 回複素環科学討論会, オンライン, (2020/9/24-26).

### Other Details (その他)

#### [Outside Comittee (学外委員)]

1. マリンバイオテクノロジー学会 評議員
2. 天然有機化合物討論会 世話人

## ■ Miura Osamu 三浦 収

### MEXT (科研費)

1. 古代湖・琵琶湖におけるカワニナ類の適応放散のメカニズム (代表:三浦 収) 基盤研究(C), 令和2年度～令和4年度, 1,430千円.
2. 宿主巻き貝-吸虫類寄生虫系に注目した干潟生態系への気候変動影響の評価 (代表:金谷 弦) 基盤研究(C), 令和2年度～令和4年度, 500千円.
3. 東アジアの古代湖「琵琶湖」の固有種成立過程の解明のための総合的研究 (代表:高橋 啓一) 基盤研究(B), 平成30年度～令和4年度, 200千円.

### Journal Publications (論文)

1. Miura, O., Urabe, M., Mori, H., Chiba, S., Ancient drainage networks mediated a large-scale genetic introgression in the East Asian freshwater snails. *Ecology and Evolution*, 10: 8186-8196 (2020).

### Conference Presentations (学会・講演会発表)

#### Domestic:

1. 三浦 収, 金谷 弦, 中井 静子, 伊藤 萌, 千葉 聡, 海岸生態系の津波からの回復を「寄生虫」から推定する, 2020 年日本ベントス学会・日本プランクトン学会・合同大会, オンライン (2020/9/20).
2. 中井 静子, 吉田 大地, 天海 吉裕, 金谷 弦, 伊藤 萌, 鈴木 孝男, 多留 聖典, 三浦 収, 東日本大震災後の被災干潟における準絶滅危惧種ウミナシの分布と新規加入の現状, 日本生態学会第 67 回大会, オンライン (2020/3/8).

## ■ Teramoto Maki 寺本 真紀

### MEXT (科研費)

1. バイオディーゼル燃料の新奇大量生産系の開発 (代表: 寺本真紀), 基盤研究(C), 平成30年度～令和2年度, 1,950千円.
2. 脂肪族アルコール合成細菌及び脂肪族アルコールの製造方法 (代表: 宮本憲二), 基盤研究(A), 平成30年度～令和4年度, 1500千円.

### Any Other Funds (その他の研究経費)

#### [Consigned Research (受託研究)]

1. 海洋細菌のもつ生理活性を利活用する研究 (代表: 寺本真紀) 静岡県, 令和2年度 マリンバイオテクノロジーを核としたシーズ創出研究, 2,311千円.

### Other Details (その他)

[Others (その他)] 国際誌への投稿論文 1 報の review 審査, 民間企業の研究相談 1 件.

## ■ Sakurai Tetsuya 櫻井 哲也

### MEXT (科研費)

1. 遺伝子注釈の高度化に基づく渦鞭毛藻の増殖と有用化合物生合成に関するオミクス解析 (代表: 櫻井哲也) 基盤研究(C), 令和元年度~令和4年度, 900千円.

### Journal Publications (論文)

1. Dana Ulanova, Yuka Uenaka, Masazumi Sakama, Tetsuya Sakurai, Draft Genome Sequence of *Salinispora* sp. Strain H7-4, Isolated from Deep-Sea Sediments of the Shikoku Basin, *Microbiology Resource Announcements*, 9, 45 (2020).
2. Sujan Mamidi, Adam Healey, Pu Huang, Jane Grimwood, Jerry Jenkins, Kerrie Barry, Avinash Sreedasyam, Shengqiang Shu, John T Lovell, Maximilian Feldman, Jinxia Wu, Yunqing Yu, Cindy Chen, Jenifer Johnson, Hitoshi Sakakibara, Takatoshi Kiba, Tetsuya Sakurai, Rachel Tavares, Dmitri A Nusinow, Ivan Baxter, Jeremy Schmutz, Thomas P Brutnell, Elizabeth A Kellogg, A genome resource for green millet *Setaria viridis* enables discovery of agronomically valuable loci, *Nature Biotechnology* volume 38, 1203–1210 (2020).
3. Kyonoshin Maruyama, Kaoru Urano, Miyako Kusano, Tetsuya Sakurai, Hironori Takasaki, Miho Kishimoto, Kyouko Yoshiwara, Makoto Kobayashi, Mikiko Kojima, Hitoshi Sakakibara, Kazuki Saito, Kazuo Shinozaki., Metabolite/phytohormone–gene regulatory networks in soybean organs under dehydration conditions revealed by integration analysis, *The Plant Journal*, 103, 197–211 (2020).

### Conference Presentations (学会・講演会発表)

#### Domestic:

1. 木下優太郎, 田中幸記, 山本博文, 佐藤陽一, 櫻井哲也, 平岡 雅規, 葉状多細胞緑藻で発見された単細胞状態での指数増殖, 第 44 回日本藻類学会大会, 鹿児島 (2020/3/26-28).
2. 平岡 雅規, 木下優太郎, 三浦収, 山崎朋人, 櫻井哲也, 汽水産スジアオリの有性個体群間の遺伝的変異, 第 44 回日本藻類学会大会, 鹿児島 (2020/3/26-28).
3. 池田彩乃, 高野義人, 遠藤寿, 緒方博之, 櫻井哲也, 加藤伸一郎, 大西浩平, 森澤啓子, 樋口琢磨, 外丸裕司, 高橋迪子, 長崎慶三, 渦鞭毛藻ウイルスの DNA ポリメラーゼ活性中心は生物界の例外的存在か?, 第 44 回日本藻類学会大会, 鹿児島 (2020/3/26-28).

### Other Details (その他)

#### [Outside Comittee (学外委員) ]

1. 学術雑誌「Kuroshio Science」(ISSN: 1882-823X) 編集委員(2018/4-)
2. ナショナルバイオリソースプロジェクト ミヤコグサ/ダイズ基盤情報ワーキンググループメンバー (2014/9-)

#### [Comittee Activity outside the cluster (部門選出の全学委員) ]

1. 総合科学系情報セキュリティ委員

#### [Others (その他) ]

1. 特定国立研究開発法人 理化学研究所 環境資源科学研究センター 客員主管研究員 (2017/4-)

## ■ SAITO Tomomi 齊藤 知己

### MEXT (科研費)

1. タイマイとアカウミガメのフレンジー(脱出直後の興奮状態)の解明と保全策の提示(代表:齊藤知己)基盤研究(C),令和元年度~4年度,3,300千円.代表:今年度獲得直接経費(200千円).
2. 有明海の第三の人工構造物・リヒビ網設置による流れの変化に伴う魚類成育場への影響(代表:木下泉)基盤研究(C),令和元年度~3年度,5,000千円.分担:今年度獲得直接経費(30千円).
3. 琉球列島の洞窟水圏環境における生物多様性の解明(代表:藤田喜久)基盤研究(B),令和2年度~4年度,13,500千円.分担:今年度獲得直接経費(300千円).

### Any Other Funds (その他の研究経費)

#### **[Joint Research (共同研究)]**

1. アカウミガメ孵化幼体のフレンジー期の代謝に関する生理学的研究(代表:芦田泉香子),2020年度笹川科学研究助成,740千円.

#### **[Fund within the University (学内プロジェクト経費)]**

1. 気候変動に伴う絶滅危惧種アカウミガメの産卵地北進の実態の解明(代表:齊藤知己),令和2年度学長裁量経費,1,000千円.

### Journal Publications (論文)

1. Fujimoto, R., Kosaka, S., Miyake, K., Kobayashi, Y., Takada, K., Kumazawa, Y., Saito, T., Effect of retention conditions and duration on the swim frenzy of hatchling loggerhead turtles, *Herpetol. Conserv. Biol.*, 15(3), 579-587 (2020).

### Books (著書)

1. 愛知県ブルーデータブック改訂委員会,愛知県ブルーデータブック2020,愛知県産業部環境課(2020).

### Conference Presentations (学会・講演会発表)

#### **Domestic:**

1. 芦田泉香子, 向後蓮太郎, 松田乾, 森昌範, 伊藤美穂, 栗田正徳, 小林翔平, 熊澤佳範, 齊藤知己, アカウミガメ幼体の孵化から脱出, 走行および遊泳における代謝について, 口頭発表, 第31回日本ウミガメ会議, オンライン大会(2020/12/19-20).
2. 向後蓮太郎, 芦田泉香子, 松田乾, 森昌範, 伊藤美穂, 栗田正徳, 熊澤佳範, 齊藤知己, アカウミガメ幼体の孵化から脱出の過程における行動, 口頭発表, 第31回日本ウミガメ会議, オンライン大会(2020/12/19-20).

### Other Details (その他)

#### **[News Article (報道記事)]**

1. タイマイとアカウミガメのフレンジー(脱出直後の興奮)高知新聞子ども新聞 よもっか, いきものだいすき「ハナゴンドウ」, 執筆(2020/2/5).
2. NHK総合, 「さわやか自然百景」, 取材協力(2020/2/25).
3. NHK Eテレ, 地球ドラマチック「ビッグママの子守歌〜マッコウクジラの大家族物語〜」, 監修(2020/3/7).
4. 高知新聞, 喫水線「飼育の日に」, 取材協力(2020/4/19).
5. 高知新聞子ども新聞 よもっか, 「海にプラごみ カメ助けて」, 取材協力(2020/6/5).
6. 高知新聞子ども新聞 よもっか, いきものだいすき「ニホンカナヘビ」, 執筆(2020/6/19).
7. 高知新聞子ども新聞 よもっか, 「海ガメ産卵」, 取材協力(2020.7.3).
8. 高知新聞, 所感雑感「ウミガメの目でみる高知の砂浜」, 執筆(2020/9/29).
9. 高知新聞子ども新聞 よもっか, いきものだいすき「ニタクジラ」, 執筆(2020/10/2).
10. 日本テレビ, 「THE! 鉄腕!!DASH!!」, 部分監修(2020/10/11).
11. NHK Eテレ, 地球ドラマチック「水中カプセルの挑戦!ポリネシアの海洋大調査」, 監修(2020/11/7).

#### **[Outside Committee (学外委員)]**

1. 日本甲殻類学会英文誌編集委員
2. 環境省希少野生動植物種保存推進員
3. 高知県希少野生動植物保護専門員
4. 日本ウミガメ協議会理事
5. むろと廃校水族館顧問
6. 香港オーシャンパーク水族館環境保護基金審査員  
Ocean Park Conservation Foundation, Hong Kong (OPCFHK), reviewer
7. 安芸市立学校給食センター運営委員会アドバイザー
8. 高知県生物多様性こうち戦略推進リーダー

#### **[Regional Contribution (地域貢献活動)]**

1. 高知県警察署, 違法取引ウミガメ剥製の鑑定協力, 鑑定書作成(2020/1/28, 2/18).
2. 室戸市立元小学校, 出前授業「ウミガメ学入門」, 講師(2020/7/22).
3. 高知市科学館オーテピア, 子ガメ展示協力(2020/8/1-31).
4. 竜串ビジターセンターうみのわ, 企画展「ウミガメのことをもっと知ろう」, 展示協力, 監修(2020/9/1-30).
5. 竜串ビジターセンターうみのわ, 2回自然ふれあい行事企画, 「ウミガメ入門」, 講師(2020/9/5).
6. 横倉山生物総合調査(2020/10/1~).
7. 高知県希少野生動植物普及啓発パンフレット校閲.

## ■ Namba Takushi 難波 卓司

### MEXT (科研費)

1. 小胞体膜タンパク質BAP31が制御するミトコンドリア機能と神経障害の関連性の解明 (代表:難波卓司), 基盤研究(C), 平成31年度~令和3年度, 1,100千円.

### Any Other Funds (その他の研究経費)

#### [Joint Research (共同研究)]

1. 新規化粧品材料の研究開発 (代表:難波卓司), (株)丸善製薬, 5,250千円 (間接経費を含む).

#### [Scholarship Donations (奨学寄附金)]

1. 脂肪細胞の分化過程における小胞体-ミトコンドリア接触領域を介したミトコンドリアの機能制御の役割と脂肪細胞の分化制御法の発見, 小野医学研究財団, 1,000万円.
2. ミトコンドリア機能を維持した脂肪細胞の分化誘導を促進する新規化合物の機能解析と肥満予防効果の探索, 持田記念医学薬学振興財団, 3,000千円.
3. 生活ストレスが小胞体-ミトコンドリア接触領域における情報交換機構の破綻と細胞老化を引き起こすメカニズムの解析, 武田科学振興財団, 2,000千円.

### Journal Publications (論文)

1. Machihara, K., Namba, T\*. Kuanoniamine C stimulates bortezomib-induced cell death via suppression of glucose-regulated protein 78 in osteosarcoma. Biochemical and biophysical research communications. 527, 289-296 (2020).

## ■ Ulanova Dana ウラボダナ

### MEXT (科研費)

1. 生態分子に着目した“化石種にも使える”高精度有孔虫Mg/Ca水温計の開発 (代表:氏家由利香), 基盤研究(B), 令和2年度~令和4年度, 350千円.

### Any Other Funds (その他の研究経費)

#### [Consigned Research (受託研究)]

1. 陸上と海洋環境における微生物間化学コミュニケーションの解明と応用(代表:ウラボダナ), 調査研究費 (外国人招へい研究者事業), 令和元年度, 150 千円.
2. 海底下の極限環境における微生物化学生態学の解明研究(代表:ウラボダナ), 調査研究費(外国人特別研究員事業), 令和元年度, 70 千円.

#### [Fund within the University (学内プロジェクト経費)]

1. 国際学術論文投稿支援制度(代表:ウラボダナ), 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」事業, 令和2年度, 84千円.

### Journal Publications (論文)

1. Ulanova, D., Uenaka, Y., Sakama, M., Sakurai, T., Draft Genome Sequence of *Salinispora* sp. Strain H7-4, Isolated from Deep-Sea Sediments of the Shikoku Basin, *Microbiol. Resour. Announc.*, 9:7–9, (2020).

### Other Details (その他)

#### [Committee Activity outside the cluster (部門選出の全学委員)]

1. 一日公開実施委員

#### [Activity on International Exchange (国際交流活動)]

1. 外国人招へい研究者の受け入れ(2020/2/15-2020/3/1)
2. 外国人特別研究員の受け入れ(2020/2/1-2020/3/1)

## ■ Onodera Ken-ichi 小野寺 健一

### MEXT (科研費)

1. 海洋アルカロイドの起源解明法確率研究 (代表:小野寺健一) 基盤研究(C), 令和元年度~令和3年度, 1,100千円.

### Any Other Funds (その他の研究経費)

#### [Consigned Research (受託研究)]

1. 海洋細菌のもつ生理活性を利活用する研究 (代表:寺本真紀) 静岡県, 令和2年度 マリンバイオテクノロジーを核としたシーズ創出研究, 500千円.

#### [Fund within the University (学内プロジェクト経費)]

1. 小児脳梗塞による脳傷害の修復を目指した医学-海洋科学連携型創薬研究への取り組み(代表:東洋一郎), 2020年度病院長裁量経費, 令和2年度, 300千円.

### Other Details (その他)

#### [Outside Comittee (学外委員)]

1. 日本農芸化学会 中四国支部 支部参与

#### [Comittee Activity within the cluster (部門内での活動)]

1. 評価 (広報) 委員